

## 基本政策 1 安心して安定的な水道水を使用できる

### 【基本政策の方向性】

水道施設の計画的な更新や健全な事業経営を進めるとともに、災害時に対する備えを充実することで、ライフラインである水道水を安心して、安定的に使用できる“まち”を目指します。

### 5年後の目指す姿

#### 「有効水量<sup>1</sup>の向上」

漏水防止に努め、老朽化した水道施設の計画的な更新を進めることで、限りある水資源の有効利用を進め、有効水量の向上を目指します。

【数値目標】	現状値		目標値
有効率	97.0% (H30)	⇒	98.0% (R7)

### 基本施策

#### 1－1 水質・水圧の管理体制の充実

安全な水を供給するため、県営水道水や地下水の水質管理を徹底するとともに、水質に関する情報を提供するなど、水質と水圧の管理体制を充実します。

【KPI】	現状値		目標値
水質、水圧の管理体制の維持	水質検査項目の合格値の確保	⇒	継続

#### 【主な取組】 水質の管理

残留塩素濃度を適切に管理するために、老朽化した浄水場滅菌設備を計画的に更新します。

【KSF】	現状値		目標値
浄水場滅菌設備の更新	2 / 4 箇所 (R2)	⇒	4 / 4 箇所 (R7)

#### 1－2 漏水を減少させる取組の推進

持続可能な水道事業を実現するため、老朽化した水道施設の計画的な更新を進め、漏水を減少させる取組を推進します。

【KPI】	現状値		目標値
漏水件数の削減	200 件/年 (R 元)	⇒	170 件/年 (R7)

#### 【主な取組】 定期的な漏水調査の実施

水資源の有効利用に資するため、漏水調査を継続して実施し、有効率の向上に努めます。

【KSF】	現状値		目標値
5 年間で市内全域の漏水調査の実施	—	⇒	5 年間で市内全域調査

<sup>1</sup> 給水される水量のうち、実際に使用できる水量

## 1 - 3 災害時の備えの充実

水道施設の耐震化を実施し、災害に強い水道施設を目指し、災害時の備えを充実します。

【KPI】	現状値	目標値
上水道の基幹管路の耐震化率の向上	58.0% (R2)	⇒ 64.0% (R7)

## 【主な取組】 基幹管路及び重要施設までの管路の耐震化

災害に強い水道施設を目指し、基幹管路及び重要施設までの管路の耐震化を優先的に進めます。

【KSF】	現状値	目標値
基幹管路及び重要施設までの管路の耐震化工事	年 1 箇所	⇒ 年 1 箇所以上

## 1 - 4 水道事業運営の充実

環境に配慮した水道事業の経営を維持し、利用者サービスの向上など、水道事業運営を充実します。

【KPI】	現状値	目標値
水道普及率の向上	99.2% (H30)	⇒ 99.3% (R7)

## 【主な取組】 環境エネルギー対策の推進

環境負荷低減のため、浄水場及び配水場のポンプ設備更新時にポンプの省電力化に取り組みます。

【KSF】	現状値	目標値
省電力化ポンプの導入	0 / 3 箇所 (R2)	⇒ 3 / 3 箇所 (R7)

## 関連する SDG s ゴール



水道施設の更新や災害に対する備えを充実し、すべての市民に安心して安定的な水道水を供給できるよう取り組みます。 関連ターゲット (6-1)



健全な経営など水道事業の継続性を担保し、ライフラインである水道水を安定的に供給できるように取り組みます。 関連ターゲット (9-1)



管路の耐震化などを進め、災害時でも安定した水道が供給できるよう取り組みます。 関連ターゲット (11-b)



漏水を減少させるなど、水を資源として大切に、持続可能な管理と効率的な利用を推進します。 関連ターゲット (12-2)

## 関連計画等

富士見市水道ビジョン (平成 28 年度～令和 17 年度)

## 関連部署

建設部 水道課